

第11号

酪農

とちぎ



とちぎ花フェスタより

## 「とちぎ花フェスタ」

花フェスタ実行委員会主催による「とちぎ花フェスタ2003イン大田原」が、二月二十一日から三日間、大田原市の県立体育館で開かれ、県北地方に一足早く春の訪れを告げる催しが行われました。会場には、本県産の花二百種・二万五千本が一堂に集められ、品評会・押し花教室も行われ、早春の香りが漂い、花卉栽培農家の意気込みが感じられ、大勢の人で賑わいました。

新年早々に流行し始めたインフルエンザは、衰えを見せず、ついに日本列島の全都府県に「インフルエンザ警報」が発令されました。くれぐれも健康管理にご留意ください。



# 需要期増産に向けて 十五年度も生乳ひっ迫予想

平成十四年度四～一月までの全国生乳生産量は、六六七万五千トン（前年比一〇一・五％）となりました。地域別では北海道が一〇三・八％と伸びを示していますが、都府県全体では九九・七％と低迷しております。



まごころをこめて 安全・安心な良質乳生産を

関東生乳販連におきましては一五万八千トンと前年比九八・六％にあります。九都県を見ますと栃木県のみが前年を上回っている（一〇一・三％）状況です。

酪農とちぎの生産は、前年九月までは順調な伸びにありましたが、十月より伸びが鈍化し十七万七千トン、計画比一〇〇・四％で推移しています。

一方、消費は脱脂粉乳の在庫課題はありますが、食品事故以来、消費者は「食の安全・安心」を求め、加工乳及び乳飲料から牛乳志向が高まり、また各社の新商品開発による積極的な販売戦略から牛乳が伸び、今年度の加工率の発生も近年になく少ない状況により乳価向上に反映されております。ま

た、昨年の需要期には生乳がひっ迫し配乳調整を行いました。今年も今後の需給動向によりましては大幅なひっ迫が予測されます。

また、酪農乳業情報センターによりますと、十五年度の全国生乳生産量は八三九万九千トンが予測されます。平成十六年が閏年のため、閏年修正しますと全国の伸びは前年並の一〇〇％となり、地域別では北海道が一〇一・二％、都道府県全体では九九％を見通しております。

飲用向けの需要も堅調が予想され、需要期における需給のアンバランスによる生乳不足が危惧されます。

現在、組合では二十社以上の乳業者に生乳を供給しておりますが、十五年度も円滑な供給を図るために生乳増産を呼びかけているところです。対応策として、別紙の「コスト低減の要点」を指標に各戸巡回、各種研修会を通じ増産

をお願いしておりますが、併せて十五年度も奨励措置として、「配合飼料等利用奨励制度」、「需要期出荷奨励制度」、「需要期優良生乳出荷奨励制度」を計画しております。続いて、先日の理事会において、需要期に向けた増産対応の一助とする「緊急生乳増産対策」措置を決議しました。内容等につきましてはご通知のとおりですが、これらの諸措置についてのご理解を頂き有効活用されることをお願いする次第です。

皆さんにおかれましては、既に十五年度の生乳生産目標、経営改善計画を立てられたことと思いますが、特に

- (1) 快適な環境づくり
  - (2) 暑熱対策
  - (3) 良質な自給飼料生産
  - (4) 個体牛の能力向上
  - (5) 体細胞数の減少
  - (6) 糞尿処理施設
- について実践を願うものです。



# 四月から 死亡牛のBSE検査実施

前月号でもお知らせしましたように、四月一日から二十四ヶ月齢以上の死亡牛もBSE検査が開始されます。このたび、県より検査実施内容等が示されたことをうけ、組合では地域毎に説明会を開催し、皆さんにご理解とご協力をお願いしたところでありますが、改めて検査の実施方法についてお知らせ致します。

今回開始されます死亡牛検査は、昨年施行された「牛海綿状脳症対策特別措置法」に基づき、死亡牛全頭検査が義務づけられたことによるもので、国内でのBSEの浸潤状況や感染源・感染ルートの解明に大きな役割を果たします。感染原因を解明することは、今後のBSE発生の予防や蔓延防止のみでなく、消費者の安心感をさらに高めることができることから、畜産農家にとっても大変重要な検査となります。

## 家畜保健衛生所による 死亡牛の検査

二十四ヶ月齢以上の死亡牛は、県の家畜保健衛生所で検査実施されます。死亡牛は、検査材料採取のため、現在整備を進めている検査施設（西那須野町酪農試験場敷地内）に一旦運ばれ、検査結果が陰性のものみ化製処理されることとなります。（図参照）

## 検査までに酪農家が 行うこと

酪農家で二十四ヶ月齢以上の死亡牛が発生した場合は、以下のとおり対応して下さい。  
検査した獣医師又は農家は、遅滞なく管轄家保に死亡牛届出及びBSE検査申請書の提出を行って下さい。  
死亡牛は可能な限り獣医師による検査を受けるものとしますが、獣医師の検査が無い場合は、死亡時の状態を農家が提出書に明記して下さい。

死亡牛運搬業者を決定し、死亡牛が適切に処理されるよう確認して下さい。（最終的な化製処理まで、誰に依頼するか事前に決定しておいて下さい。）

家畜共済に加入している場合は、死亡牛の搬出前に管轄農業共済組合の確認を受けて下さい。

死亡年月日等を異動報告カードによりFAX、電話等で速やかに家畜個体識別センターへ報告して下さい。

死亡牛を運搬業者に渡す際は、個体識別耳標はつけたままで渡して下さい。

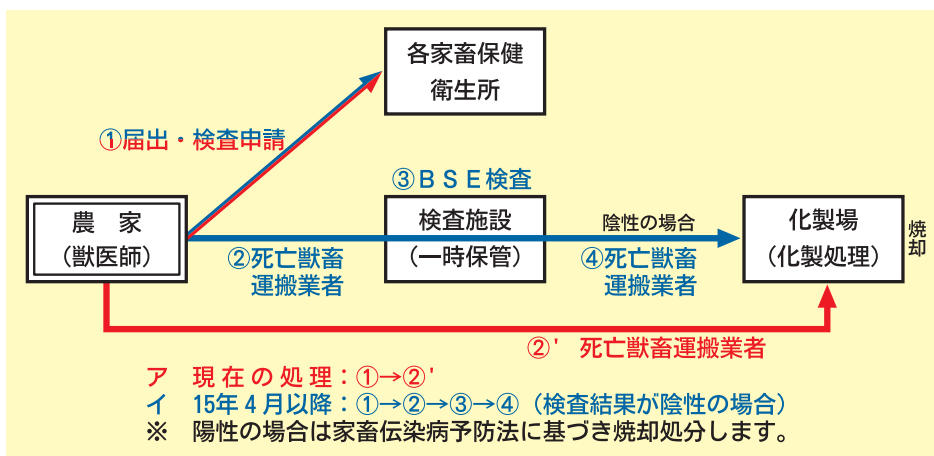
## 経費の負担

これまでどおり農家負担となります。現在国ではBSEの検査や死亡牛の適正処理のための助成事業が検討されています。詳細は未定ですので内容等が決まり次第お知らせします。

## 畜産農家の責務

死亡牛は法律で「産業廃棄物」とされており、排出者責任で適正に処理することが義務付けられています。

検査施設では、検査結果が出るまで一時的に保管を行います。所有権（責任）は農家自身にあります。畜産農家は、死亡牛が化製場などで最終処理されるまでは、責任がありますので、適切な対応をして下さい。不明な点がありましたら、指導課及び最寄りの家畜保健衛生所又は農業



## 本部青年部講演会開催

本部青年部主催による講演会を、二月六日（木）高根沢町の元氣あつぷむらにおいて開催しました。



並びに今後の運営について講演される前田組合長

参加者五十名の中、講師に前田組合長、埼玉県深谷市の酪農家、村川徳浩氏をお招きし、有意義な講演を受講致しました。

先ず、前田組合長より「本組合の現状報告並びに今後の運営について」と題し、合併後の経過報告、更に購買部門・集送乳の合理化・生乳販売部門等詳細に説明して頂きました。

また、村川徳浩氏におきましては、「ミルクソング」と題し音楽を通しての牛乳普及活動について講演して頂きました。「ミルクソング」は、牛乳の応援歌であり、「子供達が牛乳を好きになつてくれ



熱心に受講する青年部員

### ミルクソング

ミルクが売れないと ちょっぴり困っちゃう  
だってわたしたち ホルスタインなんだもの

緑の牧場で寝ころんでたら  
突然届いた悲しい知らせ  
こんな時は朝まで踊ろう  
しっぽをふってふって フリフリフリフリ

モー  
白黒模様は幸せ運ぶ 魔法のドレスさ  
あなたの元へ届けよう  
白いミルク 小ビンに詰めて  
踊ろう 朝まで 楽しく 乳搾り

明日は試合 だけど強敵ぞろい  
それでも 負けたくない  
そんな時は ミルクを飲もう  
しっぽをふってふって フリフリフリフリ

モー  
馬には負けない2馬力パワー ロバよりも早く  
あなたの元へ届けよう  
元気の元 小ビンに詰めて

踊ろう 朝まで 楽しく 乳搾り  
踊ろう 朝まで 楽しく 搾乳ダンス

イライラ ストレス 睡眠不足  
お化粧のりの悪い朝は  
パッと起きて ミルクを飲もう  
しっぽをふってふって フリフリフリフリ  
モー  
つぶらな瞳でウインクすれば 誰でも イチコロ  
あなたの元へ届けよう  
この愛を 小ビンに詰めて  
この愛を 小ビンに詰めて



歌って 踊って 講師 川村徳浩氏

れば」という思いを込めて、振り付けをしなからライブ活動を行っています。  
曲は明るいポップス調。出だしは「ミルクが売

れないとちょっぴり困っちゃう。だって私達ホルスタインなんだもの」と、酪農家の思いを歌詞にしており、歌詞の中で「ミルクを飲もう」と呼びかけております。  
我々と同じ酪農家として、親近感のある講演でした。  
最後に、今回の講演会により青年部員の意欲向上、並びに親睦・交流が図れたのではないかと思います。会場名の通り更に「元氣あつぷ」していくことを期待しております。

## 大関一男さんに 最優秀賞

### 県酪農発表会

去る二月三日（月）宇都宮市駒生町「コンセーレ」に於いて第二十八回栃木県酪農発表会が開催され、各酪農協から推薦された四名の発表が行われました。本組合に於いては経営発表部門で黒磯青年部の大関一男さん、並びに



栃木県酪農青年女性会議 委員長 渡辺 透氏

意見・体験発表部門で塩谷青年部の物井昭夫さんが発表されました。審査の結果、大関一男さん



理想の経営を力説!! 大関一男氏

が最優秀賞に選ばれ、来る三月二十六日（水）二十七日（木）千葉県千葉市「幕張プリンスホテル」で開催される第三十三回関東甲信越酪農青年婦人会議酪農経営発表大会において、栃木県代表として発表致します。また、栃木県酪農発表会後、併せて消費者に求められる「食の安全・



夢を持ち 酪農を「目指したい。」 物井昭夫氏

安心な食料提供」と題してとちぎコープ生活協同組合竹内明子理事長に講演を頂きました。

### 最優秀賞

黒磯市 大関一男氏（酪農とちぎ）  
「理想の牛群づくりを追いかけて」

### 優秀賞

氏家町 物井昭夫氏（酪農とちぎ）  
「酪農から楽農へ」  
西那須野町 久留生とも子氏（栃酪）  
「私の酪農への参画」  
塩谷町 室井義幸氏（栃酪）  
「私の規模拡大」



武田繁雄氏

### 那須町議選に当選



二月十六日  
執行されました  
那須町議選  
挙において、  
本組合員の那

須町大字大島・武田繁雄さんが見  
事トップ当選し二選を果たされま  
した。皆さんと共にお祝いを申し  
上げ、更なる町政での活躍を祈  
念申し上げます。

## 東西南北

### 那須高原支所

#### 大田原地域酪農組合で研修会

去る一月二十八日に大田原地域  
酪農組合の新年研修会が盛大に開  
催されました。大田原地域酪農組  
合について簡単に説明いたします  
と、地域組合の中に大田原支所・  
湯津上支所・黒羽支所の三支所が  
あり、総勢六十一名の組合員から  
成り立っております。

当日は、四十名の組合員が参加

し、来賓兼講師として菊池副組合  
長を招へいし、十四年度組合事業  
経過についての具体的な報告、県  
北CS統廃合計画の進捗状況及び、  
今後の組合運営について事細かに  
説明を受けました。研修会終了後  
は新年会に移り、飼料・乳房炎対  
策の話題、後継者の問題等と尽き  
ない話題に興じ、更に親睦を深め  
る事が出来ました。

### 宇都宮支所

#### 宇都宮支所管内青年部女性会 合同懇談会・新年会開催

去る一月二十五日、ホテル東日  
本宇都宮にて、宇都宮支所管内青  
年部、女性会計六支部合同の懇談  
会及び新年会を開きました。参加  
者は総勢四十五名で、懇談会には  
酪農とちぎ青年部長渡辺透さん、  
女性会長今克江さんにも来席願  
い、本部の事業経過等を含めた挨拶を  
頂きました。その後参加者からは  
「どんな事業活動を行ったらよい  
のか。」との質問や、また取り入れ  
てほしい事業等の要望が活発に交  
わされました。女性会那須南支所  
からは、支所では毎年旅行を行っ



ているが、仕事をする活力を得る  
ためには、本部でもこのような事  
業を取り入れてはどうか。」との提  
案がありました。また、牛舎周辺  
の環境を美しくすることで、酪農  
が明るく楽しくできるといった環  
境をつくるのも女性会の役目であ  
る。」との発言もあり、これに対し  
会場からは拍手が沸き起こりまし  
た。

この後、懇親を深める新年会が  
行われ、参集の皆さんは料理を楽  
しみながら会話もはずませ、有意  
義な時間を過ごしました。

### その他の組織活動

塩谷地域酪農組合、二月十五日  
(土)、氏家町野州バーベキューガ  
ーデン、前田忠利組合長との懇談  
会開催、参加者二十七名。

宇河今市地域酪農組合、二月二  
十一日(金)、宇都宮市大晃レスト  
ラン、菊池一郎副組合長との懇談  
会開催、参加者二十四名。

### 栃木県南支所

#### 女性会芳賀支部 手芸講習会開催

一月三十一日フォレスト益子に  
おいて、部員の梅野絹代さんを講  
師に迎え、「毛糸のたわし」と「ハ  
ンカチのコサージュ」作りに奮闘  
しました。永嶋志保子支部長始め  
三十五名の部員が参加して、久し  
ぶりに持った編み棒に戸惑いなが  
ら一針づつ編み上げました。毛糸  
のたわしは洗剤のいらないたわし  
のふれ込みですが、このことは別  
として、残り毛糸を利用して好き  
な配色ができるので、これから台  
所や処理室で活躍してくれること  
でしょう。素敵なコサージュも出  
来上がり、活気あふれる講習会が  
開催出来ました。



## 堆肥共励会を計画

この共励会の主旨は、優劣をつけるのではなく、どんな堆肥でも分析して、その結果で耕種農家を変えた勉強会を開き皆でより良い堆肥を作ることを目的としています。県南支所の青年部が、現在本年度事業として計画し、三月には実施を予定しています。



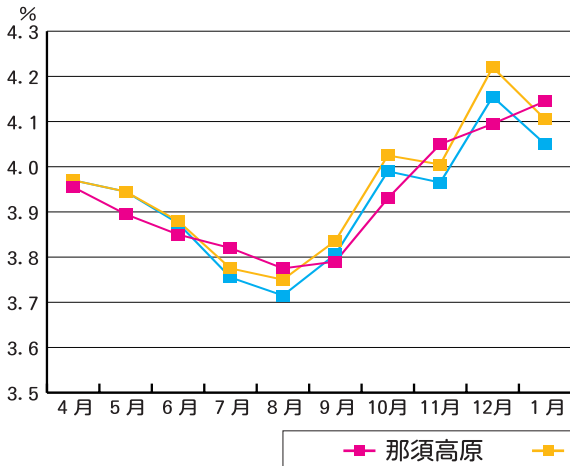
## 生乳販売部

一月の生乳の販売状況は、先月・先々月に引き続いて加工発生率が関東生乳販連において八%（前年より四・九%減）、前年比六十二%と大幅に減少しており引き続き飲用向け需要が堅調な状況が続いております。累計でも一月までの加工率は五・一%で、前年度より二・二%減少しており、このまま推移すれば年間で五%台となることが期待されます。

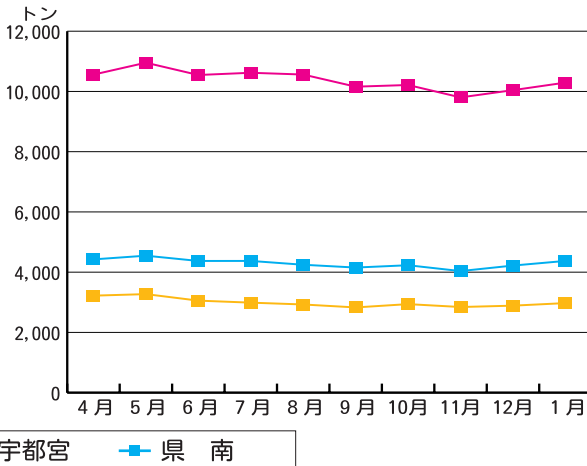
また、一月六日より製造が開始された日本ミルクコミュニティ

の「メグミルク」ブランドの牛乳の販売が非常に好調なことも大幅な加工率の減少の一因ともなっています。

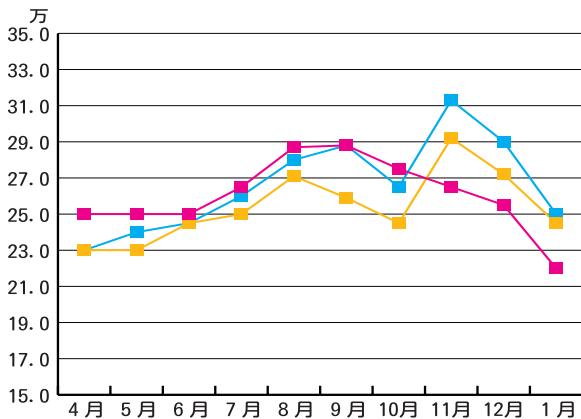
❖ 脂肪率の推移



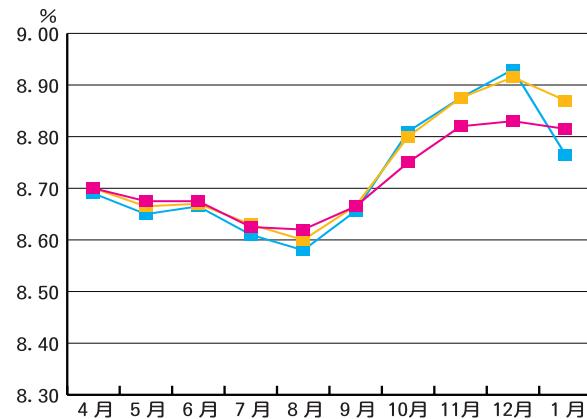
❖ 乳量の推移



❖ 体細胞数の推移



❖ 無脂乳固形分率の推移



おり、今後の販売動向が注目される所です。反面、生乳生産においては都府

県では回復の兆しが見られず、前月よりも更に伸び悩んでいる状況下であり、特に南関東地区は六〇%減と大幅な減少となっております。

一方、本組合一月の生産乳量も十一月からの減少傾向が変わらず続いております。全体では前年比九九・一%となっており、支所別で見ると那須高原支所は九九・六%、宇都宮支所は九四・三%、県南支所は一〇一・八%と県南支所については前月同様比較的堅調であります。宇都宮支所については前年を五・七%減と大幅に下回っており、各支所とも生産の回復が待たれるところです。

乳質は、一月において成分的乳質、衛生的乳質とも改善されており、細胞数は前月に比べて平均で約三・四万程向上しており、組合員各位の乳質改善努力の成果と考慮します。

今後も乳牛の飼養管理に努め、乳成分及び衛生的乳質の更なる改善にご努力をお願い致します。

一月までの乳量及び乳質成績の推移は上記のとおりです。



# 市乳販売部



四回目となる当組合の製品紹介シリーズは、県内外で販売されている「那須牛乳」を紹介します。この商品は主にスーパーでナショナルブランド（販売店が限定されていない牛乳）として多くのお客様に愛飲されている商品です。県内では北は日光から南は国分寺町まで、当組合で配達しているだけでも十七店舗と幅広く販売してい



さがみや 大沢店（今海市）

ます。その中で最も販売しているのがさがみや大沢店（今海市）です。このスーパーは、多い日で1日に約八百本も販売するほど人気があります。県外でも首都圏を中心に数多く販売されています。牛乳の一本一本に組合員の努力の結晶が詰まっています。今後も自信をもって今まで以上に販売して頂けるように努めて参ります。

## 酪農部

### コスト低減一〇の要点 （手引書）の発行について

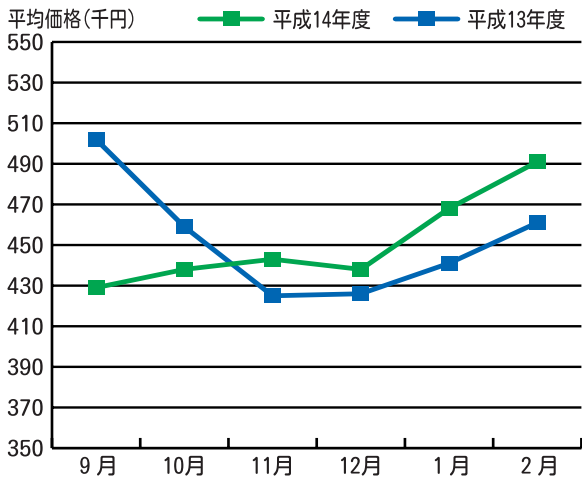
昨今、パソコンの急速な普及に伴い、またマスメディア等によって、周囲には情報があふれています。しかし、これらの情報のほとんどが利用されずに流れ去っているのが現状ではないでしょうか。送る側だけが一方づいて、受ける側が吸収し切れない、それだけ情報が氾濫し過ぎているのではないのでしょうか。

そこで、これらの情報を咀嚼、反芻、消化するお手伝いをするため、皆様からの要望も伺いながら、

極力吸収し易い形でマニュアル化して行きたいと考えています。技術とは、知識のみに止めず、いかに自己に合せ、利用していくのが大切で、まず、使用（駆使）難易度（技術の難しさ、易しさ、労働条件）、経済効果、目的達成度など、これらのポイントをおさえることだと思えます。

経営向上は生産コスト管理、財務管理、労務管理などから成り立ちますが、主に、技術の組立てが重要となります。常に、生産コストを意識しながら目標を設定し、そのための計画を立て、実践し、

### ホクレン乳牛市場平均価格推移



### 2月ホクレン初妊牛市場成績

（単位：頭、千円（税込））

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	~300	301~350	351~400	401~450	451~500	ss
十勝	2/5-6	478	483	5	6	40	75	149	203
根室	2月13日	423	486	1	4	17	52	165	184
豊富	2月14日	265	459	2	4	25	75	102	57
釧路	2月14日	216	462	6	6	18	40	80	66
十勝	2/19-20	446	526	0	4	9	25	77	331
北見	2月21日	320	532	1	4	14	15	54	232
合計		2,148	491	15	28	123	282	627	1,073
前月		1,713	470	12	44	153	323	672	509
前年同月		2,407	456	19	63	254	706	902	463

### 家畜市場成績

平成15年2月

単位：円

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野 十五日	ホルス雄	82	-	72,450	1,580	40,022
	F 1 雄	79	-	173,250	27,300	142,322
	F 1 雌	68	-	126,000	33,600	81,514
館林 十七日	ホルス雄	11	66	59,000	25,000	45,273
	F 1 雄	13	69	174,000	80,000	143,462
	F 1 雌	26	71	121,000	78,000	98,500



反省することが肝要かと考えます。これらのことを踏まえ、別添コスト低減一〇の要点」に基づき、今後、関係機関の協力を得ながら、技術シリーズとして定期的にその手引書を組合機関紙に添えて発行して参りますので、経営に活用されますようお願いいたします。

## 理事会だより

### 一月度理事会

#### 報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金の貸付について
- 協議事項
- (一) 十二月度及び四、十二月度

#### 事業実績について

- (一) 平成十五年度乳質共励会実施について
- (二) 農業近代化資金の貸付について



## 春夏秋冬



BSE陽性判定牛が一月に入り、続けて二頭和歌山県と北海道で確認されました。これによる消費者の反応が気にかかっていましたが、報道ではさほどの影響が無かったようでした。消費者が冷静に受け止められたことは、全国的に行われている徹底した検査実施により、消費者の信頼（安心感）が確立されたからと推測されます。

四月一日から、BSE対策特別措置法により死亡牛の全頭検査が行われることになりました。

酪農家にとっては若干負担になることが予想されますが、消費者の

信頼を増す意味でも大事なことで、個体識別耳標の装着によるトレーサビリティ（追跡可能性）とともに、食品の品質について安心と安全をアピールする大切なこととして捉えていただきたいと思います。

雪印事件以降、加工乳飲料や低脂肪牛乳など脱脂粉乳を使用した乳飲料が消費者離れを起こし売り上げが低迷したため、その原料として使用されていた脱脂粉乳の使用量が激減し、脱粉の過剰在庫を招く結果となりました。

その在庫量は十四年度末には八万数千トン（適正在庫量の約三倍）と見られていますが、更に積み増しとならないよう今後酪農業界全体の努力が必要となります。

雪印乳業・全農直販・ジャパンミルクネット（全酪連系）三社の

合併により今年一月に誕生した日本ミルクコミュニティ株式会社は、新商品『メグミルク』を発売しました。

発売一ヶ月の経過ではありませんが、今のところ順調な売れ行きとことです。この牛乳も明治乳業の『おいしい牛乳』同様安売りはしない商品として販売に努力されていると聞きますが、そのことが消費者に認知してもらえたいことを願っています。

スーパーなどの安売り合戦で、安くなり過ぎた牛乳の価格を大量に販売する大手メーカーのナショナルブランド商品がリード役となつて値直し（適正な価格に引き上げる）に貢献されれば他にも影響し、現状の好転が望めるのではないかと思慮する次第です。

(W)

## 編集後記

先月は、まさに三寒四温という言葉通りでした。寒い日が数日続いた後に、暖かい日が続き、また寒い日が続くの繰り返しで、体調管理に苦労なされたと思います。私は幼少の頃、冬でも外で遊んでいました。体を鍛える目的で無かったと思いますが、自然と抵抗力もつき、とても元気でした。しかし、最近のインフルエンザは強力です。健康に対する自己管理を怠らずに、春を迎えましょう。

花粉症の方には憎むべき、大量の杉花粉が上空を飛び交う季節の到来です。花粉症について調べてみると、花粉症が病気として初めて発見されたのはイギリスとのことでした。イギリスでは杉ではなく、主にイネ科の牧草が花粉症の原因となつているようです。また、日本の杉花粉も世界の三大花粉症に数えられ、その猛威を振るっています。花粉症対策を万全に、少しでも涙の量を少なくするようがんばりましょう。

(A)

